

喘息

患者様情報

来院されるまでの症状

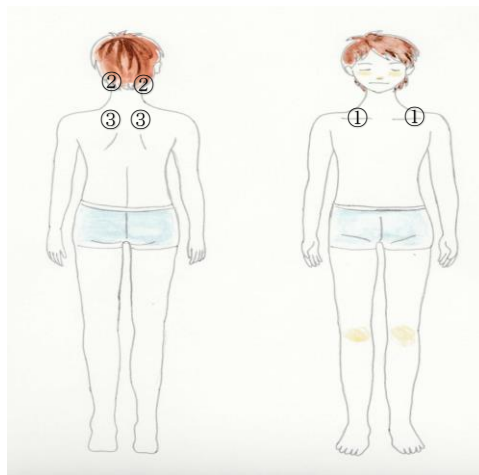
- ・2年前から血圧が高く、糖尿病も悪化してきたそうです。
同時期から花粉症や寒暖差でアレルギー喘息が出るようになったそうです。
- ・喘息を期に禁煙を始め、生活習慣を改めたそうですが、喘息を和らげる吸引器と薬は手放せなくなりました。
- ・冬の寒い時期は、朝からお風呂に入らないと仕事に行けないほど症状が続き、スギの花粉がひどい時期は日本に居ることが辛過ぎて、ハワイに行っていたとのこと。

患者様	50代 男性
初診	2019年 1月
既往症	高血圧、糖尿病
他の症状	肩こり、首こり、足のむくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・この患者様は大柄な体格で、首がうっ血し盛り上がっていました。
- ・首肩こりもひどく、血流が悪く顔面は真っ赤に紅潮していました。
- ・喘息の発作の影響で、全身が緊張していたので首から背中にかけて浅めの鍼を置鍼しました。お灸は糖尿病に良いとされている「脊柱」に多めにお灸を据えました。



■ 初診後の経過

- ・初診後、「息が吸える！」感動していました。
- ・治療後、2日程しか効果が続かない状況でしたが週に1回の治療を継続していくことで鍼灸の効果も持続するようになりました。
- ・喘息の発作も減り、首肩こりも軽減したそうです。
- ・糖尿病、高血圧の既往歴があるので、現在も治療を

使用した主要なツボ

- ① 欠盆（ケツボン） ② 風池（フウチ）
③ 肺俞（ハイユ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・喘息はアレルギー物質、副交感神経が優位になることなどが原因で気道が狭くなり、刺激が入ることにより起こるとされています。
- ・症状は発作的な咳、呼吸が苦しくなるとヒューヒュー、ゼーゼーといった笛のような音が聞こえることもあります。
- ・小児から発症することも多く、慢性的で根が深い疾患といえます。
- ・これは鍼灸治療の得意とする免疫力を上げ体質改善を図ることで、症状緩和が期待出来ます。